

●まちあるきの進め方

【①スケジュール】

時間 (目安)	項目	実施内容								
10分	準備	実際にまちを歩く前に、次のことを決めましょう。 グループ：なるべく同じ地域に住んでいる人を、5～6名程度のグループに分けます。 役割分担：グループ内で、リーダー・写真撮影係・メモ係を決めます。 ル ー ト：まちあるきで確認するルートを決めます。								
60分	まちあるき	次のページのチェックリストを参考に、気づいたことを地図にメモをしましょう。また、重要なポイントでは写真を撮るとともに、地図上に各色のシールを貼ることをお勧めします。 <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険だと思った場所</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>安全だと思った場所</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>役立つと思った場所</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table>	項目	色	危険だと思った場所	赤	安全だと思った場所	緑	役立つと思った場所	青
項目	色									
危険だと思った場所	赤									
安全だと思った場所	緑									
役立つと思った場所	青									
30分	意見交換	地域を歩いて気が付いたことをグループで話し合います。 また、必要に応じて、危険だと思った理由や、役に立つと考えたポイント等を書いた付箋や、撮影した写真を地図に貼ると、状況が分かりやすくなります。 ※取りまとめた結果を参考に、地域の安全な避難経路を話し合ってみましょう。								
20分	発表	グループで話し合った内容を発表し、参加者全員で共有しましょう。								

【②準備品】

地域を歩く際に必要なもの		とりまとめに必要なもの	
物品	必要数	物品	必要数
地域の地図(A3またはA4)	各グループ2、3枚	地域の地図(A0またはA1)	各グループ1枚
カメラ	各グループ1台	油性ペン	各グループ1セット
画板	地図と同じ枚数	付箋	各グループ1冊
筆記用具	地図と同じ本数	丸シール	各グループ1セット

※この他、参加者は飲み物を持てきましょう。

※体調が優れないときは、まちあるきを控えましょう。

【③実施のようす】



●まちあるきチェックリスト(抜粋)

まちあるきのチェックリストを下表のとおりまとめましたので、活用してください。

また、広島県が作成した「自主防災組織活性化マニュアル」には、より詳細なチェックリストを掲載していますので、参考にしてください。

【ダウンロードURL:<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/5/h27jisyumanu.html>】

No.		項目	✓
1	河川 氾 濫	河川護岸にひび割れ、欠損、剥離（はくり）などの損傷がある。	
2		河川護岸が途切れた箇所があり、川の増水で越流する。	
3		橋脚の間隔が狭く流木などが引っかかりやすい橋がある。	
4		雨が降ると溢れやすい箇所がある。	
5		過去に氾濫した箇所がある。	
6	土 砂 災 害	「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」に指定された箇所がある。	
7		雨が続くとがけから水が湧きだす。	
8		のり砕工・擁壁工などのがけ崩れ対策工にひび割れなどの損傷がある。	
9		谷の出口に土石や流木が引っかかりやすい橋梁などがある。	
10		過去に土石流が発生し未対策の箇所がある。	
11	浸 水 災 害	ガードパイプなどの柵や欄のない水路や側溝がある。	
12		浸水時、道路との境界が分かりにくい水路や側溝がある。	
13		土地が低く浸水しやすい箇所がある。	
14		大雨で川のようになる傾斜路がある。	
15		過去に高潮や豪雨で浸水した箇所がある。	
16	地 震	昭和 56 年以前に建築された（新耐震基準を満たさない）建物が多い。	
17		倒壊して道路を塞ぐ恐れのある建造物（道路閉塞建物）がある。	
18		ブロック塀にひび割れ、欠損、剥離（はくり）などの損傷がある。	
19	そ の 他	公衆電話の位置を把握している。	
20		AEDの設置箇所を把握している。	
気付きメモ			